

表 HC-QI の定義

分野	HC-QI	分子	分母 (対象から除外)	リスク調整		分類
				利用者特性 ^{*1}	事業者特性 ^{*2}	
栄養	1. 不適切な食事	1日1回以下の食事(過去3日間で2日以上)	なし	(1)65歳以上(+) (2)末期疾患(+)	新規者の分子割合	割合
	2. 体重減少	目標でない体重減少があった	末期疾患あり	(1)ADL障害 ^{*3} (+) (2)がん罹患(+)	新規者の分子割合	割合
	3. 脱水	水分摂取の不足	なし	(1)ADL障害 ^{*3} (+) (2)末期疾患(+)	新規者の分子割合	割合
薬剤	4. 薬剤のレビュー	医師が薬剤を確認していない	薬剤1種類以下	なし	新規者の分子割合	割合
失禁	5. 尿失禁の悪化	尿失禁状態が不変、悪化、新規発生	なし	(1)更衣障害(+) (2)認知障害 ^{*3} (+) (3)75歳以上(+) (4) ^{*4}	新規者の尿失禁レベル平均値	変化
潰瘍	6. 皮膚潰瘍の悪化	褥瘡・うっ血性潰瘍が不変、悪化、新規発生	なし	ADL障害 ^{*3}	新規者の潰瘍レベル平均値	変化
身体	7. 補助具の不使用	(屋内外の移動に要援助で)補助具を不使用	移動の自立者	(1)更衣障害(+) (2)認知障害 ^{*3} (+) (3)ADL障害 ^{*3} (+) (4)不安定な病状(+) (5)不安定な歩行(+)	新規者の分子割合	割合
	8. リハビリなし	OTあるいはPT、運動療法を受けていない	リハの可能性 ^{*5} に非該当の人	なし	新規者の分子割合	割合
機能	9. ADLの悪化	ADL ^{*3} が不変、悪化、新規に障害	末期疾患あり	(1)移乗障害(+) (2)認知障害 ^{*3} (+)	新規者のADL ^{*4} の平均値	変化
	10. 屋内移動の悪化	屋内の移動が不変、悪化、新規に障害	末期疾患あり	(1)少ない活動時間(+) (2)認知障害 ^{*3} (+) (3)更衣障害(+)	新規者の移動能力の平均値	変化
機能	11. 転倒	(過去90日間に)転倒した	寝たきり状態	(1)55歳以上(+) (2)少ない活動時間(+) (3)不安定な歩行(+) (4)関節炎(+) (5)認知障害 ^{*3} (+)	新規者の分子割合	割合
認知	12. 社会的孤立	一人であり、寂しいと感じているか、社会的活動の低下を悩む	なし	(1)不安定な健康 ^{*3} (+) (2)主観的健康観悪い(+) (3)伝達能力の障害(+) (4)認知障害 ^{*3} (+)	新規者の分子割合	割合
	13. 認知障害の悪化	認知障害 ^{*3} が不変、悪化、新規に障害	なし	(1)認知症と診断(+) (2)便失禁あり(+) (3)75歳以上(+)	新規者の認知障害 ^{*3} の平均値	変化
機能	14. せん妄	意識状態の変動や興奮があった	なし	(1)視覚の低下(+) (2)末期疾患(+) (3)認知障害 ^{*3} (+) (4)抑うつ ^{*3} 状態(+)	新規者の分子割合	割合
	15. 気分の落ち込み	抑うつ症状があって、他のうつ、不安の症状が2つ以上該当	なし	(1)短期記憶障害(+) (2)主観的健康観悪い(+) (3)慢性問題の再燃(+) (4)介護者ストレス(+) (5)75歳以上(+)	新規者の分子割合	割合
機能	16. コミュニケーション障害の悪化	コミュニケーション障害不変、悪化、新規障害	なし	(1)ADL障害 ^{*3} (+) (2)認知障害 ^{*3} (+)	新規者の伝達能力の平均値	変化

分野	QI	分子	分母 (対象から除外)	リスク調整		分類
				利用者特性 ^{※1}	事業者特性 ^{※2}	
痛み	17. 重度の痛み	重度または生活に支障のある痛み(1日1回以上)	なし	(1)不安定な健康 ^{※3(+)} (2)慢性問題の再燃(+)	新規者の分子割合	割合
	18. 疼痛管理の不十分	痛みがあるが、鎮痛剤が適切に効いていない	痛みがない	認知障害 ^{※3(+)}	新規者の分子割合	割合
安全環境	19. 虐待	虐待の兆候があった	なし	認知障害 ^{※3(+)}	新規者の分子割合	割合
	20. 事故	骨折、火傷、説明のつかないけががある	なし	(1)転倒を恐れ外出せず(+) (2)骨粗鬆症あり	新規者の分子割合	割合
その他	21. インフルエンザワクチン未接種	インフルエンザワクチンを受けていない	化学療法療養中 放射線療養中		新規者の分子割合	割合
	22. 入院	入院、救急外来受診、緊急の訪問を受けた	なし	(1)糖尿病(+) (2)浮腫(+)	(3) ^{※4} 新規者の分子割合	割合

※1 あり・なしの2値変数。(+)：当該の障害・疾患がある、または条件に該当。

※2 新規者：相談受付から30日以内の新規利用者。

※3 各々の評価尺度¹²⁾から算出された値に基づく。

※4 補正要因に「亜急性期」が含まれるが、日本版MDS-HC2.0には項目がないため、条件から除外。

※5 MDS-HC2.0の：CAP(Client Assessment Protocols)⁹⁾のCAP 1.「ADL/リハビリテーションの可能性」。